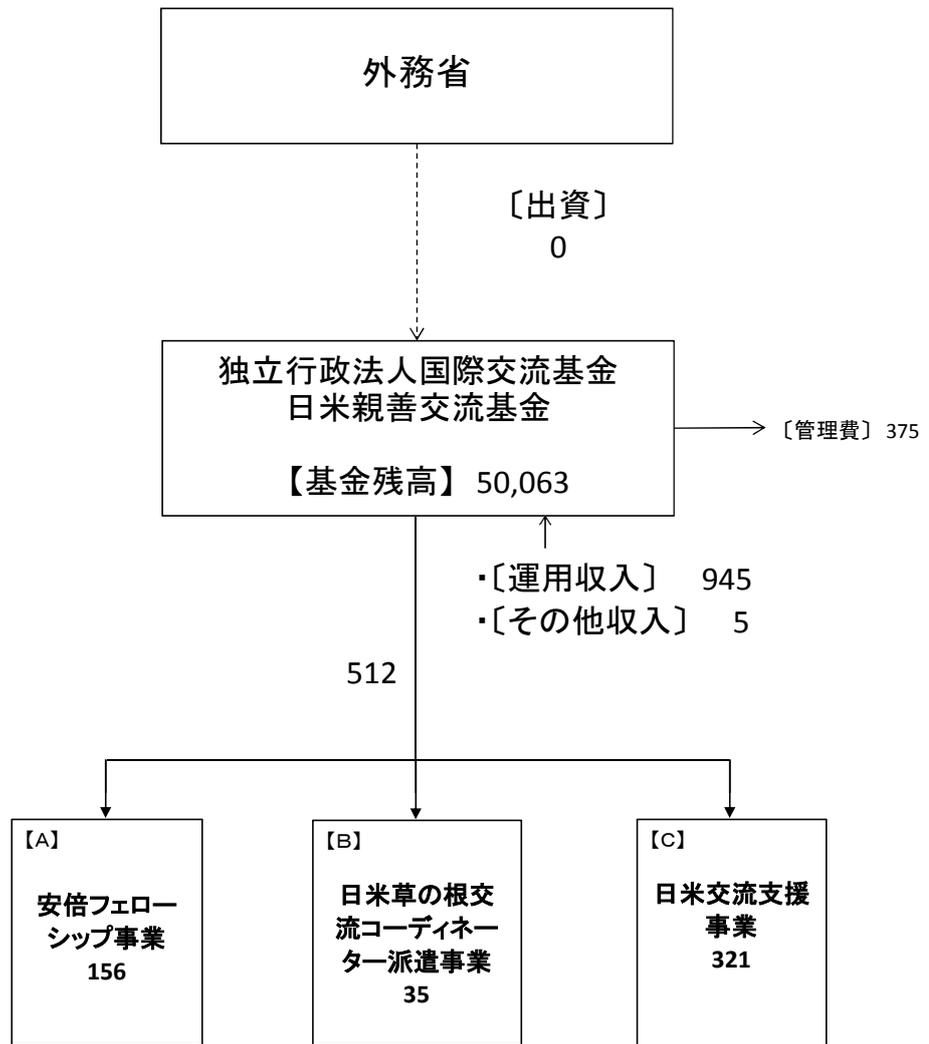


平成25年基金シート (外務省)

基金名	日米親善交流基金	担当部局	外務報道官・広報文化組織				作成責任者		
法人名	(独) 国際交流基金	担当課室	広報文化外交戦略課				課長	新居雄介	
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	独立行政法人国際交流基金法 第5条、第12条第2号、第15条、第16条	関係する計画、 通知等			関係する行政事 業レビューシ ート		071		
事業概要 (5行程度。別 添可)	(1) <input type="checkbox"/> 取り崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input checked="" type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成・補給 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input checked="" type="checkbox"/> その他 日米両国の緊密な連携・パートナーシップにより、国際社会が直面する重要な課題の解決に貢献することを目的として設立。 以下の2つのミッションを掲げて、日米間の知的対話や共同研究、人的ネットワーク構築、人材育成などに資する事業を実施している。 ●日米両国が国際的責任を分かち合い、世界に貢献するため、世界的視野に基づく協力を推進する。 ●相互理解に基づく揺るぎない協力関係を実現するため、日米両国の各界各層における対話と交流を促進する。								
基金への国庫から の支出の経緯 ①	基金設置年度	-	当初/補正 (会計区分)	-	国費額 (単位:百万円)	10,000			
	目的	平成2年度補正予算による新規出資金400億円が出資され、既存の国際交流基金資金(出資金)のうち100億円と合わせて総額500億円の基金を設立							
基金への国庫から の支出の経緯 ②	基金設置年度	平成2年度	当初/補正 (会計区分)	補正 (一般)	国費額 (単位:百万円)	40,000			
	目的	平成2年度補正予算による新規出資金400億円及び既存出資金のうち100億円の合計500億円を原資とした運用益収入により、新設の「日米親善交流部」にかかる全経費を賄うために設置							
終了予定時期	終了予定時期を設定していない(安定的な財政基盤を確立することにより長期的な視野にわたった事業運営を効率的かつ円滑に遂行することを目的とした日米間の国際間約束に基づくもの)								
収入・事業費等 (単位:百万円)	収入	22年度		23年度		24年度		25年度見込み	
		国費	0	0	0	0			
		出資等	0	0	0	0			
		国費以外 運用収入	975	913	945	976			
		その他収入	90	20	5	12			
	前年度繰り越し	50,000	50,039	50,000	50,063				
	(マイナス)返納額	0	0	0	0				
	合計(a)	51,065	50,972	50,950	51,051				
	事業費等	日米センター事業	1,026	972	887	1,051			
	合計(b)	1,026	972	887	1,051				
基金残高 (a-b)	50,039	50,000	50,063	50,000					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標(目標年度)			単位	22年度	23年度	24年度	25年度 見込	目標年度 見込み
	安倍フェローシップ・供与人数			人	35	36	29	37	—
	日米草の根交流コーディネーター派遣			人	12	14	12	16	—
	日米交流支援(日米交流の強化に資する知的対話、共同研究、ネットワーク形成等の主催・助成事業)			件	123	127	83	90	—
単位(1件)当たり の事業費等	安倍フェローシップ	4,493(千円/人)	算出根拠	単位あたり事業費=166,250千円/37人					
	日米草の根交流コーディネーター派遣	2,500(千円/人)		単位あたり事業費=40,000千円/16人					
	日米交流支援	4,029(千円/件)		単位あたり事業費=362,617千円/90件					
保有割合 (基金事業に要する費用に対する保有基金額等の割合)	47.57			算出方法	平成25年度基金額(50,000百万円) / 平成25年度事業費(1,051百万円)				
所見/対応状況	日米センター事業を通じて、参加者の相互理解やネットワークが促進され、またフェローシップ参加者の日米の政策への影響力や日本に関する情報発信において活躍する例なども、成果として現れてきている。米国での日本文化紹介のための市民派遣では、米国民の対日関心向上に大きな成果を上げている。								
補記									

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



個別事業名： 日米センター事業

A. 安倍フェローシップ事業(米国社会科学研究協議会(SSRC))		
費目	使 途	金 額 (百万円)
フェロー支給金	フェローへの支給金	92
業務委託費	フェローシップ運営に係る経費	63
計		155
B. 日米草の根交流コーディネーター派遣事業(ローラシアン協会)		
費目	使 途	金 額 (百万円)
派遣者給付金	派遣者への給付金	20
業務委託費	プログラム運営に係る経費	13
計		33
C. 日米交流支援事業(ブルッキングス研究所)		
費目	使 途	金 額 (百万円)
助成金	日本関連の政策研究ポスト(ジャパン・シニア・フェロー)新設経費	26
計		26

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

個別事業名： 日米センター事業

支出先上位10者リスト

A.安倍フェローシップ事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	米国社会科学研究協議会 (SSRC)	安倍フェローシップ・フェロー支給金	92	-	-
2	米国社会科学研究協議会 (SSRC)	安倍フェローシップ運営経費	63	公募	-
3	公益財団法人国際文化会館	安倍フェロー20周年記念レセプション会場手配・ケータリング	0.6	随意契約	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.日米草の根交流コーディネーター派遣事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ローランシアン協会	JOI(Japan Outreach Initiative)プログラム共催分担金	33	随意契約	-
2	モバーシャル株式会社	日米草の根交流コーディネーター派遣 (JOI)プログラム広報	0.9	随意契約 (少額随契)	-
3	株式会社スタジオエムジー	JOI(Japan Outreach Initiative)プログラム第8期・第9期活動報告集作成	0.3	随意契約 (少額随契)	-
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.日米交流支援事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ブルッキングス研究所	平成24年度助成金(ジャパン・シニア・フェロー)	26	-	-
2	モーリーン・アンド・マイク・マンズ フィールド財団	平成24年度助成金(日米次世代ハブリック・インテリクチュアル・ネットワーク事業)	11	-	-
3	オレゴン大学	平成24年度助成金(日本グローバルスカラー事業)	10	-	-
4	財団法人平和・安全保障研究所	平成24年度助成金(日米パートナーシッププログラム)	10	-	-
5	米国法人日本国際交流センター	平成24年度助成金(東日本大震災支援のための日米協力:シビル・ソサエティの協力促進)	9	-	-
6	ユタ大学	平成24年度助成金(比較・グローバル保険医療研究への日本の融合)	9	-	-
7	地震工学研究所	平成24年度助成金(日米台湾共同調査:応用可能な災害復興の教訓)	9	-	-
8	東西センター	平成24年度助成金(日本研究フェローシップ)	9	-	-
9	特定非営利活動法人難民支援協会	平成24年度助成金(難民の社会的統合における日米韓の協力体制構築)	9	-	-
10	カーネギー国際平和財団	平成24年度助成金(シニア日本専門家ポストの設置)	8	-	-